

第1回県政150周年記念事業推進会議 概要

1. 開催日時：令和6年6月26日（水）16時～16時15分
2. 議事概要：以下のとおり

（小見山政策企画部長）

第1回県政150周年記念事業推進会議を開催する。明治9年（1876年）に現在の三重県が誕生してから、令和8年（2026年）で150周年を迎える。この機会を捉えて、各部署連携のもと記念事業を実施したいと考えており、本日の会議では、記念事業の推進体制や取組方向について確認・協議いただきたい。それでは、事務局から説明をお願いします。

●資料1, 2について世古次長より説明。

（福永教育長）

今回この資料の趣旨を見ると、シビックプライドを醸成し、次代を担う子供たちに繋いでいくとある。教育委員会としては、しっかり主体的に取り組んでいかなければならないと考えている。何ができるのか、政策企画部とも相談しながら、検討したい。

（松下雇用経済部長）

150周年記念事業として、三重県の産業をしっかりと打ち出していく。今後、三重の産業の魅力を効果的に発信する方法や三重テラスの活用も含めて、様々に検討していく。

（長崎地域連携交通部長）

県政150周年記念事業は、県、或いは、各地域を再発見する絶好の機会と考え、スポーツ推進局、南部地域振興局とともに、市町や関係団体等々の協力も得ながら、すすめていきたい。

（後田総務部長）

当部は来年の「県民の日」事業の担当部局であり、これを皮切りに県政150周年記念事業につなげていきたい。どのように実施するか具体的には決めていないが、全体の盛り上げにつながるような取組を進めていきたい。

（一見知事）

三重県には、歴史、自然、文化などさまざまなバラエティーに富んだ、他県に誇れるものがあると思う。そういった魅力をアピールできるような取り組みを各部署は考えてほしい。

また、150年を一つの佳節としながら、これから先につながる取組が大事である。主役は子どもたちになるが、子どもたちを意識した取組をお願いしたい。

「県政150周年」とした時、県民（特に、子ども達）にイメージできるのか。「三重県誕生150年」という言い方のほうが、子どもたちにわかりやすいのではないか。今後、議論いただき県民に受け入れやすいキャッチフレーズを考えて欲しい。